



避難訓練（不審者想定）

18 日（火）に不審者を想定しての避難訓練を行いました。職員玄関前に不審者が現れたという連絡を受け、全校が音楽室に避難する訓練です。今から 16 年前、大阪の池田小学校に包丁を持った男が侵入し、子どもや教師を追いかけ回して命を奪う事件がありました。1・2 年生の児童 8 人が亡くなり、15 名の児童と教師が大怪我をしました。この事件をきっかけとし、不審者に対応する訓練や犯罪から身を守る訓練が学校で行われるようになりました。



私は子どもたちに、「いざという時に自分の命を守れる人は、普段の生活をきちんとしている人です。普段、大きな声であいさつをしていますか。小さな声しか出さないでいる人は、いざという時、助けを求めるときに大きな声を出せません。…」というような話をしました。

避難訓練の後の防犯教室では、自分の身を守る方法を大仙警察署少年係やチャイルドセーフティセンターの方々から教えていただきました。もうすぐ夏休みです。不審者からばかりでなく、交通事故にも気を付け、事故のない楽しい夏休みになるよう願っています。

情報モラル教室 ～ネットには危険がいっぱい～

平成 28 年度にコミュニティサイトを通じて性犯罪被害にあった子どもの数が 1,736 人（前年比+84 人）で過去最多となったそうです。平成 20 年度で 792 人ですので、この 8 年程で 1000 人程度の増加です。ネットを通じた犯罪やトラブルにあわないようにするには、必要以上の情報を流さない等正しい利用の仕方を理解しておくことが大切です。このようなことから NTT ドコモの方にお出でいただき、4・5・6 年生を対象に「情報モラル教室」を行いました。



夏休みに入ると、ネットを利用する子どももいると思います。休み前、以下のようなことを家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。（警察庁・文部科学省資料より）

○家庭のルールを作りましょう。

日頃からスマホやゲーム機の利用方法について子どもとよく話し、トラブルがあったらすぐ相談に乗りましょう。

○フィルタリングを必ず利用しましょう。

携帯電話販売店に相談し、子どもが利用するスマホ等にフィルタリングをかけましょう。

○実際にどういう手口で被害にあうかを知っておきましょう。

警察では、インターネット利用に係る児童の犯罪被害等防止啓発動画を作成しています。

【公益財団法人警察協会ホームページ】 <http://www.keisatukyokai.or.jp/untitled29.html>

器楽部サマーコンサート

明後日（23日）、県民会館で行われる「秋田県小学校バンドフェスティバル」に出場する器楽部の激励を兼ねてミニコンサートを行いました。一生懸命さが音色に表れ、子どもたちにも、お出でいただいた保護者の皆さんにもその思いが伝わる演奏会となりました。



当日は、これまでの練習の成果を十分に発揮して、会場のみなさんに思いを届けてほしいと思います。

<秋田県小学校バンドフェスティバル>

【期 日】7月23日（日）

【場 所】秋田県民会館

【出演時刻】午後4時10分頃

※サマーコンサートの動画をHPにアップしますので、そちらもご覧ください。

〇〇さん、〇〇さん、がんばれ！

今日の集会でも紹介しましたが、3年生の〇〇〇〇さんと2年生の〇〇〇〇さんが〇〇小学校へ転校することになりました。〇〇小は児童数が700名を超える大きな学校ですが、早く新しい学校に慣れ、友達をたくさんつくってがんばってほしいと思います。

今日の夏休み前集会で、次の作文を子どもたちに紹介しました。ご一読を…。

努力のつぼ

1年 角野 愛

「お母さん、努力のつぼの話、またして。」

「うん、いいよ。今度はなあに。」

「逆上がり。」

「あらあら、まだいっぱいになっていなかったのね。ずいぶん大きいね。」

と言いながら、お母さんはいすを引いて私の前にすわりました。そしてもう何回もしてくれた「努力のつぼ」の話をまたゆっくりと始めました。それはこんなお話です。

人が何かを始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から「努力のつぼ」をもらいます。そのつぼにはいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいものや小さいものや色々あります。そしてそのつぼは、その人の目には見えないのです。でもその人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」があふれる時、つぼの大きさが分かるというのです。だから休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。

私はこの話が大好きです。幼稚園の時、初めてお母さんから聞きました。その時は、「横ばしご」の練習をしている時でした。それから「一輪車」「鉄棒の前回り」「跳び箱」「竹馬」。何でも頑張っている時、お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。くじけそうになる時でも、この話を聞いていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして私の「努力」がもう少しであふれそうに見えるのです。だからまたがんばる気持ちになります。

お母さんの言うとおり、この「逆上がり」のつぼは、ずいぶん大きいみたいです。「逆上がり」を始めてから、もう2回この話をしてもらいました。でも今度こそ、あと少しであふれそうな気がします。だから明日から、またがんばろうと思います。

お母さんは

「つぼが大きいととても大変だけど、中身がいっぱいあるから、あなたのためになるのよ。」

と言ってくれるけど、今度神様にもらう時は、もう少し小さいつぼがいいなあと思います。

（出典：朝日作文コンクール「子どもを変えた親の一言」作文25選 明治図書）

※原文の平仮名のところを漢字に直しました。

お母さんの話を聴く愛ちゃんの姿、そして「逆上がり」の完成を目指して鉄棒に向かう一生懸命な姿が目につかびます。子どもたちも、この夏何かに挑戦し、「努力のつぼ」に努力をつめこんでほしいと思います。そして、夏の終わりにはきっと…。

事故のない、楽しい夏休みになりますように！